3月27日 日曜日 26日発行
昭和30年西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京振替貯金口座 170071番
第3048號

野党 引続き政府を追及

憲法、機会みて改正
首相答弁 中ソとも平和外交へ

[illegible]予算委が開かれ、前日に引続き総括質問を続行、田中織之進（左社）片[illegible]改正、日ソ国交調整問題等について政府を鋭く追及した、大蔵、商工、[illegible]それ開かれた、一方参院は予算委員会が午前十一時から開かれ一万田蔵[illegible]開いた、他の委員会は正午にいたるまで開かれていない

衆院予算委員会

[illegible]

首相 自主独立を堅持しつつ、自由主義国家群と提携を続けると同時に、中、ソとも平和外交を持ちたい

田中氏 親米、親ソ、並行外交は原則的に われわれも 賛成である、千島、樺太の返還はハボマイ、シコタンの返還要求のようなわけにはゆかないという考え方はおかしいではないか

重光外相 その問題は日ソ交渉の上でどういう問題が具体的に起ってくるかを見極めつゝ研究したい、しかしサンフランシスコ条約は軽々に変更できない

田中氏 ガリオア、エロアは対米債務と考えているのか

外相 ガリオアは戦後の経済援助だから返済すべきであるが、その条件を目下交渉している、アメリカとしては西独のそれと同様に考えているようだが、わが方はそれよりも有利な条件で解決したい

田中氏 それでは吉田内閣と同じではないか

外相 ガリオアは占領下に起った問題だから現在では外交交渉を続ける以外に方法がない

事務折衝に入る
日米防衛交渉 來週がヤマ

廿五日の日米五者会談で来年度の防衛分担金折衝は正式に口火を切ったが、この日は具体的に数字をあげた話合いはなく、日本側から「本年度の防衛費総額を廿九年度のワク内におさめたい」という原則的要請がなされたにとどまったようで、廿六日以後の事務的折衝から再び日米首脳の政治的折衝に持込まれ結局来週がヤマになるものとみられている

廿五日の会談で米側は日本の要請に対し諾否を明らかにしなかった模様だが、成否のカギは強硬な国防省筋を説得し米議会をも納得させ得る説明を日本側が与えることができるかどうか、また米側も日本の国会が了解しうる資料を示すことができるかどうかにかゝっている

日本側は防衛庁費以外の七、八十億円に及ぶ予算外契約、廿九年度からの繰越し約二百億円などを加え防衛費は実質的にかなり大きくなること、また日本特有の災害対策費や義務教育費が巨額であること、政治的には米国の希望をそのまま受入れても国会で修正され、政府および保守政党の立場が危くなる危険があることなどを指摘することになろう、これに対して米国側が比較的好意的な国務省筋が強硬な国防省筋をリードできるかどうかが 一つのカギと みられている

廿六日からの事務折衝は稲垣外務省欧米局長代理、鈴木大蔵省財務官、ウェアリング参事官、ディール財務官の間で行われ、その上で重光外相のほか政府筋では必要に応じて一万田蔵相、杉原防衛庁長官がアリソン大使、ハル、テイラー両大将、マグルーダー参謀長らと個別に会談することになろうといっている

日比交渉日取決らず

門脇外務次官、中川アジア局長は廿六日午前、前夜来日したフィリピン賠償代表団のラヌーサ団長らと賠償予備交渉の日取などについて協議したが、意見が一致せず結論は出なかった、日本側は第一回の交渉を 廿九日に行うよう主張した

国会対策を協議
あす鳩山邸で 政府与党首脳が

[illegible]首脳部が会合、国会対策を協議することとなった、鳩山首相は廿五日午後院内で三木総務会長、岸幹[illegible]与党のとるべき態度について三木総務会長の強硬論と岸幹事長の協調論にわかれ同日は結論を得なかった、しかし現実に国会運営は自由党の野党色の濃いままに行政監察特別委員長問題は依然見通しを得ず、暫定予算審議をめぐっても手放しで楽観を許されない状態であるため早急に政府与党の態度をきめる必要に迫られている

このため廿七日国会が開かれなければ午後十時から、国会が開かれれば審議終了後、政府側から鳩山首相、松村文相、大麻国務相、根本官房長官、与党側から三木総務会長、岸幹事長、清瀬政調会長、砂田国会対策委員長の党四役が鳩山邸に集り、各党の情勢を分析、本予算提出後の本格的な審議にたいする政府与党の国会運営方針を協議することになったものである

根本官房長官談 暫定予算案に対する野党攻勢をみても国会運営は容易ではない、まして本予算案に対する野党の出方は小数与党内閣としてはよほどの決意を必要としよう、このため廿七日にもし国会が休みなら午前十時から音羽の首相邸で政府与党首脳会議を開き、今後の国会対策について協議する、予算委員会があれば散会後となろう

政府与党が自主性を貫くとすれば解散という決意まで固めなければならぬが、もちろんその前に本予算案の事前折衝や地方選挙対策などを通じ自由党に協調を求め何とか国会運営を円満に運びたい、現在のところ具体的な結論はすぐには出まい、いずれにしても本予算案の国会提出後の情勢を見極めることになろう

プラスチックのハンモック
スバラシイ曲線美を見せる

空中ダイビングではありません、今年のアメリカマイアミ海岸にお目見得した透明ハンモック、百分の一インチの厚さのプラスチック製で五、六人の美女がのっても大丈夫、横たわる美女の曲線美がたっぷり鑑賞できるのがミソ

【写真はマイアミ発UPサン】

『赤い侵略』阻止せよ
李韓国大統領が力説

【京城廿六日発＝共同】李承晩韓国大統領は廿六日第八十回誕生日を迎え、京城市スタディアムで行われた祝賀会に出席し、次のように演説した

自由諸国がアジア大陸から足場を失えば、共産侵略勢力は直接米国を攻撃し始めるだろう、現在共産衛星国となっている国はもとはすべて反共国であった

このことは自由世界にとって大いに教訓とすべきである、そしてわれわれは中国大陸にいる中国人六億の人々を救い出さねばならない、かれらはすべてが共産主義者ではなく米国が早く共産主義の危険に気づくことも望んでいる、私は米国は必要とあれば民主主義の理想維持のため米国本土だけでなく世界の他の地域でも戦いを辞さないものと信じている、自由諸国が共産主義にのみこまれないうちにこれを食いとめねばならない

對原爆秘密兵器
米、ネヴァダで初実験

【ラスヴェガス（ネヴァダ州）廿五日発UP＝共同】ネヴァダ州ユッカ平原で原子兵器の実験を続けている米原子力委員会は、廿五日午前九時（日本時間廿六日午前二時）実験場の上空九千㍍で、通常の高性能爆薬を用いた秘密兵器の実験をおこなった

老練な観測者たちの間ではこの秘密兵器は実戦においては"原子爆薬"を装てんし敵の爆撃機隊を一挙に全滅する目的で空中で飛行機から発射する誘導弾の一種で、これが爆発すれば敵の爆撃機隊が直径三㍍余の火の玉に包まれてしまうという威力を発揮するような兵器であろうとの推測がおこなわれている、なおこの爆発実験の効果を測定するために予め約四十機の空軍機が空中一面に煙のぱんじまを描き、多くの測定装置をパラシュートや気球に託して爆発点付近の空中に配置したのが目撃された

【備考】ロイター電はこの実験の目的は高性能爆薬の爆発によって原子爆弾のキノコ型原子雲をどの程度に吹き散らすことができるかを試験することにあったのではないかと観測している

米、原子爐設計図を公表

【ニューヨーク発AP＝共同】米原子力委員会はさる三月十日、同委員会と米国機関車製作会社との間に一九五四年十二月調印の契約のもとに同会社がデザインしたAPPR（陸軍包装動力原子炉）の設計図を公表した、これは世界中のどんな遠隔の基地へでもその構成部分を包装の上、空中輸送し得るような方式のもとに建設された最初の原子力発電所の原型となるもので、米陸軍ではこの種の原子炉をまず三年がかりで米陸軍工兵隊本部の所在地、ヴァージニア州フォート・ベルボアに設置を予定している

【写真は公表されたAPPRの設計図】

モ外相、近く解任？
米紙報道

【ニューヨーク廿五日発ロイター＝共同】ニューヨーク・ポスト紙のロバート・アレン記者は廿五日同紙上でモロトフ・ソ連外相が近く解任されるだろうと報じ次のように述べている

米国の最高政策決定機関である国家保障会議は、鉄のカーテンの背後の特別な筋および外交筋から、モロトフ外相は解任されるだろうとの特別報告をうけており、その中にはモスクワ駐在のボーレン大使も含まれている

粋人酔筆
藝妓古今くらべ
田辺 禎一

今から四十年ほど前のことである。東京のある花街に、数え年漸く十七歳になった美しい芸妓がいた。竹久夢二の画から抜け出したような愛らしい妓であった。お座敷でこの妓を一目見て好きになり夢中になって通いつめた年配の客があった。

へ初手は左ほどに思いはせぬが 逢うたび、ごとの真実に 今じゃわたしが命がけ…

という唄の通り、その妓もそのお客に血道をあげるようになり、日ごとの逢う瀬を楽しんでいたが、一年ほどして遂に思いが叶い、その妓は目出度くそのお客に身請けされて、郊外に一軒の小さな家を持ち、二号生活に入った。旦那は三日置きぐらいに市中から通っていた。

旦那はサラリーマンで、収入も多くなかったので、この妓への仕送りもまことに僅かであった。それゆえ生活も極度に切りつめ、仕送り以外は、一文でも旦那に金を要求したこともなく、平素は粗衣、粗食で、顔におしろいもつけず、口に紅をも施さず、たゞ旦那が来る時だけ、美しく化粧し、かつて芸妓に出ていた時に着ていた晴れ着をつけ、旦那の好む酒肴をとゝのえて、旦那の喜ぶ顔を眺めて楽しんでいた。

かくして廿三年の間、少しも変らず、その間一回も旦那と別に外出したこともなく、もちろん芝居、寄席にも行かず、たゞく旦那と一緒にいることだけを唯一の楽しみとしていた。

卅九歳の春、フトした病気が元で、旦那の腕に固く抱かれながら死んで行ったが、その時女は「私はほんとに幸福でした。思い残すことはありません」と云った。十七歳の時と少しも変らぬ姿ー夢二の画から抜け出したような姿…で笑って死んで行った。

終戦後数年して、ある花街に同じく十七歳の豊満な美しい妓がいた。例の赤坂の秀駒をもっと濃艶にしたような美人である。

芸妓に出ると、その美貌が忽ち評判になって、沢山の社長や重役が彼女の周囲に集まって来た。中に数名極めて熱心に彼女を恋い慕っている客があった。

そこで彼女はこれらの客に一人々々に身請けの相談を持ちかけた。その中で三名は喜んでこれを承諾した。

何しろ百万に近い身請けの金が要ること故中々急なことにはいかない。彼女はその中で一番早く持って来た人を旦那とすることにした。

幸いにして彼女を心から真剣に愛する一人が一番先きに金を持って来た。そこで彼女はその人を旦那として、一軒の家を持たせてもらった。

彼女は将来旦那と別れても困らぬようにと十数万円もするダイヤの指環から、高価の衣装、電蓄ラジオ、その他金目になる品々を強要した。旦那は心底から彼女に惚れているので、無理をしてもその要求を叶えてやった。

そこで最後の要求として、盛り場に一軒の小さい料亭を持たせてもらった。これで大体旦那に要求する件は一通り終った。すると

へお金も出来たし 着物も出来た そこであなたと別れよか…

という唄を地でいって、その料亭に通って来る若い男と、旦那の前でいちゃついて見せ、うまく旦那の方から別れ話を持ち出させ、あわよくば手切金まで取ろうという、これが廿歳になるかならぬの当世の芸妓の利巧なやり方である。

昔の芸妓は情に生き、今の芸妓は知慧と慾で生きている。昔の芸妓は金属の如く、暖めれば温度が上るが、今の芸妓はいくら暖めても冷たくなるばかりで、原爆の灰のようなものである。

世間の人は、昔の芸妓は馬鹿で、今の芸妓は利巧だという。馬鹿とは馬の如く従順で、鹿の如く親愛であるといゝ、利巧とは利をむさぼるに巧みなるをいうと惜道居士は教えている。

政界春秋
筋道のとおらぬ社会党
木村 毅

社会党が、東京での都知事の三選は、その候補が保守政党だから反対だ、長野と北海道は自党だから三選も強行するといっているのは、どうしても筋がとおらない。

三選に反対なら反対でいゝから、東京での三選攻撃をすると共に、長野、北海道の自党候補をひっこめるべきだ。

それが引っこめられないのなら、東京での攻撃もすべきでない。他のことでの攻撃はいゝが三選の攻撃だけは、少くとも、ひかえるべきだ。それを、まるで無軌道に、自派の都合のいゝように、別な物さしをふりまわすと、だれも社会党を信用しなくなるだろう。

世間は少くとも、社会党だけは、筋をとおすに近いことをいったり、したりしてくれると期待しているのに、それが随所随用の、勝手しだいな物さしをもちいるのなら、保守政党と何のかわるところもない。

三輪寿壮が、ある新聞の座談会で、東京の三選はいかぬが、社会党はいつも野党で、はげしい批判の目にさらされてきたのだから、長野、北海道の三選はゆるされるという口吻をもらしているのを聞いて、私は、この人にしてこの言あるかとうたがい、その頭脳の健全さに首をひねった。なぜなら、彼は、私が社会党のなかで、もっとも信頼し、敬愛している人物であったからだ。

それなら、この際どうすればいいかというと、社会党としては、三選をあく[illegible]だ。東京で、ぼ[illegible]なら、長野でだ[illegible]だって、ぼうふ[illegible]道理である。む[illegible]わるいから、東京[illegible]にわいているだ[illegible]野、北海道の三[illegible]めてしまって「[illegible]おり、道理にあ[illegible]とうして地方選[illegible]る」と大見得を[illegible]は、はッたりが、さっぱりきかないではないか。

東京株式仲値
□新株落 △配当落
（26日終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		昭電工	67	旭化成	301	カボン	50
東海上	289	日本曹	70	山陽パ	90	三井物	143
郵船	63	旭電化	79	日本パ	90	第一物	95
新三菱	87	三菱造	74	国策パ	92	白木屋	231
日清紡	265	三井造	106	東北パ	110	高島屋	79
味の素	270	三菱重	63	大東紡	92	日活	81
三越	266	石川重	94	商船	54	松竹	189
平和不	381	新工	136	三井船	53	東宝	1230
三井金	111	東洋べ	107	飯野海	44	大映	171
三菱鉱	97	日立造	45	西武	351	日本粉	123
日鉱	84	浦賀	45	藤田興	210	日清粉	151
住友金	103	日平	28	東京ガ	82	日本ビ	150
三菱鉱	45	古河電	72	東電	451	朝日ビ	168
古河鉱	73	日立製	78	日銀	1810	キリン	196
同和鉱	116	東芝	70	東銀	83	宝酒造	86
住友炭	65	三菱電	98	三井銀	70	台糖	198
三井山	64	小松	66	富士銀	87	明糖	108
北海炭	58	日本光	157	日証金	100	甜菜糖	95
東邦亜	68	キヤノ	145	安田火	119	野田醤	350
帝石	66	東京光	38	大正海	94	森永	260
日石	95	東洋紡	135	住友海	110	明菓	158
昭和石	86	鐘紡	129	千代田	83	日水産	73
東燃	137	富士紡	108	鋼管	70	昭和産	79
三菱石	94	大日紡	83	日製鋼	73	東洋醸	90
大協石	98	日東紡	64	八幡鉄	61	合同酒	92
日東化	70	片倉	36	富士鉄	57	三楽	76
日産化	69	呉羽紡	82	神戸鋼	62	大阪糖	139
三菱化	81	東邦レ	100	日特鋼	140	王子紙	191
三井化	100	帝麻	68	日軽金	180	十条紙	210
昭和電	101	中織	55	日金鋼	59	本州紙	87
東合成	90	帝人	122	日セメ	127	三菱紙	92
信越化	74	東洋レ	160	磐城セ	269	北越紙	50
東高圧	105	三菱レ	126	小野田	81	三井不	786
		倉レ	76	横浜ゴ	189	三菱倉	508
				旭硝子	138	三井倉	94
				富士写	116	渋沢倉	122
				小西六	103	東洋埠	197

市況
閑散ながら底固い

きのうの戻り足を眺めて一般は底入れ人気となっており、大証券の物色買も緩慢ながら續いているので休日控えの市況は閑散保合のうちにも底固い動きを示している、特定株は一巡買われたあとだけにマバラの売物が見られ、ほとんど一—三円安と小甘く、雑株はきのう買われた海運、陶器株中心に小口の戻り売を誘って朝方は押目みにあつたが、引け際減配説で売られた神崎紙が押目買に十五円方反発したのをはじめ部分的に買気が見られて資源、低位金へン諸工業などの一部が五円内外高く、全般はまちまちのうちにも小幅いのもが多かつた

内外抄

◇千島、南樺太返還を要求せぬと首相の答弁。要求するといって置いた方が人気がよいぞ。

◇もっと引け、引かれぬの防衛分担金交渉、値が引けぬなら兵隊の数を引いて貰うんだね。

◇国会にチョッと顔を出したきりで議場には出ない吉田前首相、そんな議員はやめて貰おう。

◇久保山さんの死因は肝臓障害といわれてはますます浮かばれぬ話。速かにこの障害を除け。

◇改札口を開放する私鉄労組の戦術、無賃となっても江戸ッ子はイヤだよ。嫌味な闘争はよせ。

たいがい川柳
吉田機司選

原爆とカイロの灰にご用心 世田谷 栄崎 臥龍
年度末ブーム温泉引受ける 千代田 南 渡波
丹念に母は三つ葉の根を揃え 新宿 齋藤 耕月
パチンコを出りパチンコへ突き当り 文京 木村いつ秋
靴磨き開いた膝が気にかゝり 城東 法界坊
入学が済んで賢母はよく眠り 中野 げいたろう
ミス・トルコふとそのものを見てしまい 市川 松澤 敏行

浅草の鬼 （120）
浜本 浩 作 栗林正幸 画

川の東（二）

やがて、芝木は神妙な顔で語りだした。

「それが君、演芸場さ。二百坪の工場を改造してネ、表の看板を大衆劇場に塗りかえたと云うわけだ。そのくせ、やくざ一方のオヤジさんは、興行物に手を出したことがない。そこで、人もあろうにこの私にだよ、万事一任すると来たものさ」

芝木は、またしても、ゲラゲラと笑った。

「適材適所だよ。第一、算盤を知らんから、ごまかしができまい。」

梧郎は、手を差しのべて、「やア、支配人さん、おめでとう」心から祝福した。永い間、冷酷な羅生への屈辱に甘んじていた気の小さい老優にとって、たとえ場末の三文小屋でも、とにかく一城を預ったのである。仲間としても、喜ばぬわけにはいかぬ。

「明日が、こけら落しだ。来てくれるだろうな」

「行くとも。然し出しものは？」

「市川菊三郎の歌舞伎と、浅川不二子の剣劇で開けることにきめた」

北は十条、東は千住、西は杉並、南は品川あたり、場末の町の演芸場や、広場の掛小屋を根城にして長屋の内儀、町工場の女工さんを相手に、芸ばかりか肉まで売る、東京の旅役者、たんから芝居の数は廿幾つかある。わけても、菊三郎と不二子の一座は、芸といゝ、人気といゝ、押しも押されもせぬAクラスだと、芝木は説明した。

「そのうえ、公園で売り出した、おゝものを一枚加えたらというので、君と夏川さんを持ち出したら一俵に及ばずさ」

「僕が、何をやるんだい？」

「踊るのさ。そう云っても解るまいが、タンカラ芝居というやつは序幕が世話物で中幕が新舞踊、切りが股旅の連続ものと、番組が決ってるんだがネ、人気の焦点は新舞踊だ。つまり出雲目の珍舞踊さ。これに、ザンギリの黒田節と、雷で忠治の子守唄と、二景も出て貰うんだな」

「夏川さんも、その口かい？」

「そのつもりだったが、みごと振られたよ」

「頼むやつも、頼むやつだ」

「そのうえ、君に断られては、オヤジに向ける顔がなくなる。このとおりだ」

芝木は、片手で梧郎を拝む真似をした。

「出して貰うよ」

梧郎は、快くうなずいた。十日ほど前には、ラジオの出演さえ断った梧郎が、場末のタンカラ芝居に一座する気になったのは、あながち芝木の顔を立てるためではなく、公園とのつながりを感じたからであった。

「ありがとう。これで私の顔も立つ。然らば御意の変らぬうちに、かあさん、タクシーを呼んで来な」

芝木は、上機嫌で、細君に云いつけた。座主の田山に引合わすつもりである。

さて、水に囲まれた墨田の工場地帯は、東京湾の海面より三尺も低い日陰の町だ。その片ほとり、寺島×丁目の大通りから、ガス臭い溝沿いに横町へまがると、まだら瓦をのせた、劇場のトタン屋根が、建ち並ぶ工場の屋根と屋根に挟まれていた。

ペンキ塗り立てと、貼り出した木戸口に、開場祝の花環が、五ツ六ツ押し合い、前面の溝川の岸に市川菊三郎丈へ、浅川不二子嬢へと染め抜いた幟が三流れ四流れ、夕暮近い西風に、あおられているのだった。

「君の幟は、紺地に白抜きがいゝだろう。さっそく注文するよ」

芝木は、楽しげにそう云った。

新宿基地盛衰記

今週の眼 巴 話題のうらおもて

巴といえばいうまでもなく敗戦の泥沼に咲いた日本の象徴で、都内の巴旅館はザッと二千六百を数えるが、中でも、パンパン嬢を置きポン引を使って駐留兵士のポケットを空にし、日夜黄金の舞に陶酔してきたいわゆる"洋パンホテル"は敗戦というより、朝鮮動乱が咲かせた悪の華として犯罪の巣ともいわれ幾度かの当局の取締り旋風をくぐりぬけ今日まで生きのびてきた、その巴[illegible]もいうべきものを新宿の繁華街—歌舞伎町から西大久保一帯にかけての[illegible]・旅館群の中に見出せるが、これらのホテル・旅館群とていつまでもわ[illegible]

[illegible]

〝つわものどもが夢の跡〟いまや扉を閉じたホテル「東京で一番大きく一番安いホテル」と書いてある

性病をばら撒いて遂にオフ・リミット

朝鮮戦乱に咲き出でた"悪の華"

[illegible]

この地帯のホテル、旅館は約百軒、そのうち駐留軍専門の洋パンホテルは廿数軒の大ホテルだと警視庁保安課では見ているが、残る数十軒も多かれ少なかれ駐留軍をいいお客にしていたので打撃は大[illegible]

洋パンの手入れ

外貨2億ドルを稼ぐ

"肉体特需"華かなりし頃

新宿に駐留軍用のホテルが誕生したのはもちろん駐留軍の動きかけがあったからだ、朝鮮戦争の前後に第八軍司令官の命令で旅館の洋間の有無、トイレット、料理場の衛生状態など調査が行われたが、旅館側も「駐留軍サービス連盟」をつくって受入れ態勢をととのえた

このときの米軍の意図がパンパンホテルをつくることにあったかどうかは明らかでないが、しかし「サービス連盟」が両国ホテル、水明ホテル、お茶ノ水ホテルなどAクラスの観光ホテルを中心として発足したところから見て一応、駐留軍受入れ態勢を考えていたことは明らかだ

ところが、このとき新宿に四十軒ばかり洋式のホテルがバタバタでき上った、名古屋中村遊廓のN氏が六十室をもつ大ホテルを建てたのもこのときである

この速成ホテルには外国人経営のものが多かったが当局でも実態はつかんでいない

それに引続く朝鮮戦争はこれらホテルを不夜城にした、朝鮮ブームといわれる「肉体特需」で、外貨二億ドルを稼ぐいわゆる"アメパン"には、世評はしんらつだったが、本質においては砲弾特需と異ったところはなくパン嬢も、ホテル業者も好景気にいい気持になっていた

アメリカの兵隊達は二、三ヵ月の俸給プラス戦時手当を一週間の慰安に湯水のように浪費した、第二次大戦以上の激しさといわれた朝鮮戦場からの帰り、それも再び前線の砲火の中へ投げ込まれる彼らとしては生活が荒れるのも無理はなかったろうが、一晩の宿泊、飲食費が六、七千円、パン嬢にもそれとほぼ同額を支払う、しかも一週間泊り続けというのだから、ホテルが有卦に入ったのは不思議ではなかった、兵隊たちは将校と違って盛り場を愛したから新宿はもう一つの洋パン基地新橋よりもサカンだったわけだ

婦女管理—というとムツカシイがパンパンをホテルにおいておく、あるいは電話一本でパンパンを呼ぶという仕掛は普通とみられ、何度も手入れが行われたが、その度に「洋パン基地新宿」の声価?は高まった

いまは転業した某ホテルは、何度手入れをやっても寝ているのは裸の兵隊と、ぬぎすてたシユミーズだけで売春現行犯をつかまえられず、どこか密室があるのではないかと、上海並みの話題にのぼった巧妙なホテルもあった

"マトモ"は十軒位

最盛期に犇きあった百六十余軒

新宿駅を中心とする旅館、ホテルは百四十軒、そのうち色気抜きで泊れるカタイ旅館は十軒程度だと旅館組合ではみている、百四十軒のうち百軒は別稿のとおり駅の東口から歌舞伎町、西大久保、番衆町へかけての一帯に集中し、のこる四十軒は駅南口の旭町ドヤ街廿数軒がかたまっているほか西口甲州街道方面に散在している

淀橋保健所管内全体の旅館数は一六四軒(廿九年末)だから、駅周辺以外のひろい地域に廿数軒がバラバラとあるわけだ

戦前派は甲州街道口のK、東口のY、Tの三軒だけで、あとはすべて戦後派だが、旅館組合が「色気抜き」とみている十軒前後の旅館が、それ以外の「色気抜かず」の旅館のためにワリを食っているというのが実状で、修学旅行団体の申込みを一度は受けながら取消されたりして「死に死にだ」と悲鳴をあげている旅館もある

歴史的にみると戦前淀橋保健所管内の旅館数は十六軒、戦後は廿三年に十五軒と大体同数に復活したが、廿四年から五年にかけてバタバタとふえて最盛時の廿八年春には百六十八軒になった

中央線、小田急、京王、西武と国鉄、三私鉄のターミナルであり、東京最大の乗降客をもつ新宿駅の周辺に、これだけの旅館があってもおかしくはないのだが、ところが旅行者や観光客がこれらの旅館を利用しないところに問題がある、旅館自体が「色気抜き」でないのも原因だが、東口は私娼三百人のたむろする青線、千数百人の赤線とくっついており、南口はまた線路沿いの青線的飲み屋に加えるに街の天使の跳梁と来る環境では、色気を抜いても旅行者をとれる旅館はそんなにない、区役所観光係が「浄化」をさけぶゆえんだ

旭町は伊勢丹前の四つ角から甲州街道へ出た一角で、夜ともなれば、女に声をかけられずに通ることは不可能な町だ、ここにある旅館は「ショート三百円でいいわよ宿代もいれてよ」という言葉からも想像される程度のドヤ街で、宿泊料も五〇〇円どまりだ、最近新宿四丁目と改称したが、名前をかえても実体が変るわけはない、ただしトルコ風呂も出来て時流には乗っている、このドヤ街のまん中に国鉄スイセン旅館が一軒がんばっているのが異色になっている

(上)いまや倉庫となった某ホテル (下)華やかなりしころのその偉容

殺氣だつポン引

不景氣に續々と轉廢業

ところがこの戦争ブームは、実は廿八年七月の朝鮮休戦成立以来アワのように消えてしまった、兵隊の数も減り、戦時手当もなくなった、そのうえ、兵隊の俸給も四割天引で本国へ送られるようになったから、ホテル業が閑散になり、それだけに客引の争いも激しくなった、ポン引同士の殺傷事件も起りV・D対策として相かわらず売春取締りの手入れがつづいた

同時に目先のきいたホテル業者は、つぎつぎと転業して行った、著しい例をあげてみよう—

Qホテルは元来輸出用オモチャ工場だったのが、廿五年隣接の敷地に進駐軍専門にたてたもので部屋数は四十余、一時は隆盛を極め何度も手入れがあったり、ポン引同士のケンカや殺傷事件が起って問題になったが、これは何も同ホテルに限らない、つまりこの一帯は戦場に隣接した荒っぽい慰安所だったわけだ、廿八年にヒマになり、廿九年五月に経営者K氏は思いきってホテルを止め、本来の玩具工場と倉庫にしてしまった

そのほか料理屋に転向したものに小町園、友松等がありここ一、二年の間に六ヵところ約十軒が転業している、去年の秋から春にかけて病院やキャバレーへの転向が話題になり、暮からの二ヵ月間には八件の廃業届が出ている

また某区議の経営するT旅館は昨年暮大改造をして日本人向きの旅館になおし、目下国鉄すいせん旅館の申請をしている

"二度と來ない夢"

普通旅館への轉向さえ困難

[illegible]

普通旅館に転向したH旅館では「オフ・リミットはどうせ早晩解除されるでしょう、しかし、オフ・リミットになる前すでに不景気だったので、もう解除になるま[illegible]

[illegible]陶汰されても仕方がないというわけだ、もっともF氏は"Nホテルなど日本橋方面なら立派に観光ホテルとして通る設備だが"と惜しんでいる

[illegible]普通旅館への転向も場所が青線[illegible]千数百人の接客婦の本拠とく[illegible]いているだけに少数の例外を除いては困難で、結局転廃業による自然淘汰というのが自然の成行らしい

日本人向きの同伴旅館への転向[illegible]三千あるが、場所が場所だけに[illegible]客にキラわれ代々木、千駄ヶ谷[illegible]温泉にいたずらに名をなさしめる、事実廿八年春ごろから「日[illegible]も入れます」と看板に書いて[illegible]

わずかに三光町から市ヶ谷へ通ずる番衆町方面がアベック客を捕えているにすぎず、日本人向きの普通旅館への転向も、さきのTホテルの場合は新宿—高田馬場街道の右側にあったからできたので、どの旅館でもというわけにはゆかぬらしい

こう見て来ると、どの見とおしも悲観的だが保健所、警察署、区役所などがそろってこれら旅館について取締以外には全然無関心なのも面白い、たゞ歌舞伎町の交番にいた若い警官は

「べら棒な借金をして、エライ損だったでしょうな、儲けたのはポン引だけですよ」

とホテル業者を代弁? していた

蛍流き界譚 (ベルギー)

[illegible]母親の眼をかすめて、こっそりレオポルドに会うと、彼はニヤニヤしながら「昨晩はどうもご馳走さま」「なにがご馳走ヨ、あんなに約束しながら来なかったじゃないの、バカにしてるワ」「あんなことといって、ひけらかすんじゃないよ。でも、キミ、よく眠ってたね。眠りながら腕[illegible]してくるのよかったぜ、と[illegible]も」「…」「こんどはいつ?」[illegible]ラほんとに来たの。じゃ、[illegible]から入ったの、入口は」「知[illegible]るじゃないか、表からさ」

あすの運勢 =三月廿七日= 高島象山

▲一月生—明るい希望に満ちて進展あり新規は宜しからず旧事に吉
▲二月生—小心翼々たる態度を捨て堂々と技倆を発揮して成功あり
▲三月生—初め希合よく進み稼業繁昌あるも他動的の事は仕損じ有
▲四月生—何事も順調で幸運隆大に至るも目下の事で少し心配あり
▲五月生—心機一轉して吉運に入り目的願望次第と達成に向うなり
▲六月生—外に賑わい内に不愉快にして不満あり婦人は痴情に悩む
▲七月生—最善を盡して結果を急がず静かに努力すれば目的叶う也
▲八月生—自由自在の気運あり積極的に活動せよ開業造作移轉大吉
▲九月生—慢心の行為が禍いして遂に失敗を生ずる社交的には不利
▲十月生—依然として順調に進み思いが叶い商賣繁昌あり移轉よし
▲十一月生—漸く安心の境地に入り順調に利達あり上位の引立あり
▲十二月生—多角的の者は彼れよ是れよと気迷い失策を招来する也

モダン歳々記 唐人お吉入水

明治廿三年三月廿七日、十七歳で米国領事ハルリスに仕え、侠妓といわれた伊豆下田の唐人お吉は、半身不随の身を稲生沢川の門栗ヶ淵に投じて波瀾多い五十年の生涯を閉じた。

幼馴染の愛人船大工の鶴松との仲を割かれ、組頭伊佐新次郎の強引な謀いで玉泉寺のハルリスの許に送りこまれたお吉は「毛嫌いはせぬとお吉は目をつぶり」で身体を五十四歳の老外人に捧げたが、深酒で憂悶を散ずることを覚え、十八歳で斗酒なお辞せぬという激しい気性になっていた。

十九歳でハルリスから離れ、人々から唐人お吉と蔑み罵られた彼女は、志士とともに京都に赴いたり、遊芸師匠、髪結をしたり、左褄を二度もとって生きてきた。一時は故郷下田に料亭安直楼を開いて繁昌したが、金銭に執着しない性格は「もとめちゃ浮世がうるそてならぬ線香もて来い茶碗酒」(自作)と線香を嚙み、ハルリス愛用のコップで冷酒をあおり、忽ち倒産の憂きめをみるのであった。晩年大口丸船主亀吉が憐んで白米一俵を贈ったが、その言草が無礼だと大地へ撒き散らし、乞食に与えてしまったという。彼女の一生は遂に反抗の連続で終ったのである。(鮭)

ラジオとテレビ 26日(土)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ヘンデルの合奏協奏曲ほか 40 スポーツだより	00 松の落葉 楳茂都陸平 30 ❶長唄「梅の栄」和歌山森❷小唄 三木美代子	10 夕べの音楽 25 ぴよぴよ大学宇宙へ 55 スポーツ・タイム	00 劇「戦国群盗伝」 35 劇「少年宮本武蔵」 45 スポーツ・ニュース	00 劇「ゴジラの逆襲」 30 ロツパモシモシクラブ 45 映画劇「皇太子の花嫁」
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 二十の扉(在日留学生)中国 黄妙音ほか	00 映画音楽 ヒツトメロデイ集 解説・清水光雄 30 ❶青年学級だより❷座談会「くらしの学習」	10 録音ニュース 20 物語「福沢諭吉自伝」 50 ラジオ東京テレビ塔の尖光電球点火の実況	00 録音ニュース 10 レコード音楽 30 アベツク歌合戦 トニー谷 豊文 山口顕一郎	00 ラジオ夕刊 20 連続劇「今日もまた」 30 ❶歌謡模写 正美❷落語「つぼ」円歌
8	00 なつかしのメロデイ 小学唱歌集 川田孝子他 30 とんち教室 石黒敬七 玉川一郎 西崎緑ほか	05 きようの国会から 20 対談「原子力調査の収穫」茅誠司 藤岡由夫 45 スポーツ・シヨウ	00 ❶浮世節 西川たつ❷落語「落語家の夢」円遊 30 浪曲「六石妻子の別れ」春日井梅鶯	00 素人ジヤズのど自慢 司会 丹下キヨ子ほか 30 お笑い入学試験 小野田勇 千葉信男 のり平	00 飛び出す放送 司会トニー谷 右女助ほか 30 紅い長襦袢 五郎八 松本秀太郎 渋谷天外他
9	05 ニュース解説熊谷幸博 15 富士に立つ影 語り手 徳川夢声 40 時の動き	00 日米交歓音楽会❶日米国歌交歓❷序奏とアレグロ 別宮貞雄作曲❸組曲「平原を耕すすき」ほか	10 歌謡曲 島倉千代子 藤沢嵐子 美空ひばり他 40 歌謡漫談 遠山の金さん 川田晴久とダイナ	00 ❶落語「カメラ狂時代」小金馬❷歌謡模写 雅一 30 劇「この世の花」真木恭介 丹阿弥谷津子ほか	00 リレー劇「太郎行くところ」司葉子 大川太郎他 30 劇「噫その人を」丹阿弥谷津子 森雅之ほか
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話「先生の巻」市村俊幸ほか	00 ❶上級英語 石橋幸太郎 ❷初級解析 尾崎繁雄 45 気象通報	05 きようのニユースから 15 対談「わが党はね」 30 劇「家のおばあちやん」	00 英文法 黒田巍 30 国語(古文)小西甚一	00 歌謡曲 歌 江利チエミ 中村哲 ペギー葉山 35 スポーツ・カレンダー
11	20 ❶明日の話題❷随筆「新日本キモノ」本山荻舟	00 言葉の魔術「新聞と言葉の魔術」堀川直義	10 週末夜話 演芸立話 尾崎宏次 秋山安三郎他	00 DXニュース 福士実 20 ハイドンの弦楽四重奏	00 ピアノ・セレナード 40 オートバイ教室

★NHKテレビ★ 6・00 漫画「競馬騎手」 6・10 親子クイズ 6・40 今晩はメイコです 7・15 週間ニュース 7・30 二十の扉 8・00 映画「麦笛」 8・30 とんち教室 9・10 ニュースの焦点

★日本テレビ★ 6・00 歌謡コント 6・10 動物園「森に生きる」 6・30 素人のど競べ「春まつり大会」 7・30 なんでもやりまシヨウ 8・15 春のフアツシヨンとヘヤモード 8・45東京音々

テレビ あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
8・05 歌劇「リゴレツト」	8・00 園芸相談 穂坂八郎	8・20 楽しい手紙◇録音	8・25 みんなのメロデイ	8・30 財界放談 土居正治
9・15 黒人霊歌集	8・15 科学ゼミナール	9・10 ちえのわクラブ	9・30 歌のかくれんぼ	8・45 音楽のびつくり箱
9・30 光を掲げた人々	9・00 日曜随想 住田正一	10・30 ウエーバー小協奏曲	10・30 しわの美容◇音楽	9・15 日曜随想 森暁
10・15 子供のための話	9・15 謡曲「千手」片山九郎右衛門 杉浦義明ほか	11・05 ミユジツクアルバム	11・00 陽気な一家 土方弘	9・45 リズム・ア・ラモード
10・30 声くらべ子供音楽会	10・00 家庭と学校	12・10 素人うた合戦	12・00 痴楽お笑い大学	10・00 仲良し音楽会
11・10 経済談話室	10・30 ラジオ音楽雑誌	1・05 歌謡曲◇漫才想い出	12・40 今日のプランは	11・00 ワチニンコ物語
11・35 心の歌 山口誓子	11・00 囲碁将棋の時間	2・05 今日のトピツクス	1・00 ユーモア街頭録音	11・35 わたしはキヤロン
12・15 のど自慢素人演芸会		3・05 アンデルセン生誕祭	2・00 浪曲「左甚五郎」	12・00 金の歌・銀の歌

浪人街道 (103)

木村荘十 野口昂明画

心意氣(二)

「よかったねェ、美代吉姐さん。旦那がそういって下されば、もう親船へ乗ったつもりでいられるからねェ」

「ほんとにお春さん。これも、あんたのお蔭だよ。私ァ実は思いあまってね…きょうは、あんたのお小遣いを借りに来たんだが…旦那がそういって下されば…でも、私しゃァ夢中でこんなことをお願いに出て…安心したとたんに何だか恥かしい」

「いいわ、今に沢山おごって貰うから」

「私のおごりじゃァ高が知れてるよ」

大和屋は、二人のやりとりを聞いていたが、

「それで、軍用金は出来上ったが、美代吉さんは、さしずめ何をするつもりだね」

「その河内之介という殿様の、国表へ乗込んで、様子を探ろうという段どりなんで御座います」

「国は何処だ。何という領主だ」

「それが旦那」

美代吉は、当惑の様子で、

「敵の河内之介という殿様も、一番の家来の帯刀というのも、でたらめな偽名だそうで、何処の誰やらまだ見当がつかないのです」

「何処の誰だか分らぬ相手か…あっはっはっ、こりゃァ乙だ。ふん芸者の隠密らしくて面白れェ」

文魚は、腹をかかえて笑い出した。

「旦那、そんなに馬鹿になすっちゃいやですよ。それも、今、狂斎さんが調べているんですから」

「ほう、あの狂斎という男芸者もそちの相棒か…そうか、狂斎が調べたら分るだろう」

「はい、お師匠さんも、抜荷買をするような相手なら、きっと分ると云っていました」

「抜荷買か」

「はい、お大名の次男とか何とかいっておりましたが…そんな身分の人達がどうして、抜荷などを買って商売するので御座いましょう」

大和屋文魚は、つい釣り込まれて、金唐革の煙草入から、四つ金の煙管を出しながら云った。

「お大名は、みんな金に困っているんだよ。公方様でさえお金に困っているんだからな」

「へえー、公方様もですか」

「そうだよ」

文魚は、そんな話をする時の、女達の驚きを予期して、興味深そうに、一服煙草をすって、ふうッと煙を吐きながら云った。

「一体、美代吉さんや、お春は、お大名衆はもとより、町のいい若い衆が、この頃のように、何でも唐物がいいとか、南蛮、阿蘭陀渡りのものでなくては駄目だとか云って、贅沢なものを異国から買いつづけたために…どの位の金銀銅が失くなったと思うかな」

「さァ、私なんぞには見当もつきませんが」

「おれでさえ聞いて驚ろいているんだ。これは公儀で顧問にしている新井という偉ァい学者が調べたんだが、慶長六十年からここ五十年近くの間に、金が六百廿万両近く、銀が百十二万貫目あまり、銅が二億万斤も、唐人や紅毛人達に持っていかれてしまったのだ」

盛り場便り

ぐずぐずしているようでも時はもう春ちょっと洩れる薄陽にも花ほころぶ季節である。人間とてもその通り、うずうずする心を押えては毒。そこでブラリと歩いて楽しみを探して歩いた『盛り場便り』が即ちこれである。

パリ下町の匂い 新宿駅前「寿」

若い二人の男女が、肩を寄せ合って、新宿都電終点通りを歩いている。霧のような糠雨が、街路燈のほのかな光りに煙り、そここの水たまりに映るネオンの光りも、何となくロマンチック。とあるバーの前で二人は思わず顔を見合わせて立止まる。

女「どこかでみたようなスタイルネ?」

男「うん、どこでみたんだろう。この古煉瓦の積み重ねた感じ、あッ、分ったよ。凱旋門だ」

女「凱旋門? バーグマンの?」

二人がそのままボワイエとバーグマンになれそうな、やわらかい照明がランプのような、どことなくパリの下町を想わせる、そんな店。それが都電停留所前のサントリーバー「寿」である。若く気品のあるマスターの感じも知的だし店全体に漂う清潔さは何より若い洋酒ファンに喜ばれよう。女性は一人もいず、本当に洋酒を楽しませる点でも、新宿には数少ない店の一つ。何より有難いのは大衆バーとしての値段と品質で学生でもアベックでも気がねなく入れるところが大きな魅力だ。

連チャンと性欲 神田須田町「パチンコ寿」

連チャン式パチンコを禁止したら全国で九十万人の失業者が出るとか、業者は連日その方面の陳情に忙しくて、名は連チャンでも玉の出方の方はさっぱりなどというお寒いパチンコ屋がふえて、ファンを嘆かせている。所が、どうせ戦後なら、坊主はお経、男は度胸とばかり、ジャンジャン玉をハジキ出して、お客の方が、一体これで儲かるかネ? と小首をかしげているというケタ外れの気前のいい(或は少々気がフレたのかナ?)店が現われた。神田須田町のさかさパチンコ「寿」としてもうマニアの間ではその名を知らぬ者はないという、パチンコ王国がそれだ。キャバレーみたいな豪華なスタイルに照明、換気装置、冷、暖房とも都内第一、どんなにネバッても頭痛がすることなど決してないという衛生的な店である。朝から連チャンマニアが居すわってチーン、ジャラジャラ、パチンコはセックスの快感に似ているとか、正にここだけは禁止も鳩山もない恍惚の楽園である。

江戸調の色気 池袋東口「三幸」

戦後急激に賑わいを増した池袋界隈はまるで西部劇さながらの様相を呈すごたつきようだが、また反面、新宿、渋谷などではみられない純日本調の粋な店もある不思議な街だ。いわばアメリカ調と日本調のミックス、日本文化の縮図といっていい。その純日本調を代表する店に、東口西武デパート前の「三幸」がある。エチケットだか、エケチットだか分らぬような怪しげな近代紳士? には縁遠いが、しんみりした粋な雰囲気を楽しみながら、生一本など傾けようという古典派にはうってつけ。数寄屋造りと江戸情緒豊かな店である。特にうれしいのはここの女性がオール和服、それも黄八丈などキリッと着こなせる独得のお色気だ。うっかりしているといつの間にか安土桃山の殿様にでもなったような気分にしてくれる。誰がつけたか、味と色気と値段の「三幸」だというだけあってどんなにハメをはずしても懐ろはさして痛めない。文字通り春風駘蕩、春は「三幸」からとでもいいたい雰囲気である。

銀八に新開店の「ニッカバー」

35円で酔える

銀座八丁目に新しく「ニッカバー」が開店した。新橋に向って「天国」の二、三軒手前、左側の洋装店の二階である。入口は狭いが階段を上るとあッと驚く。広いスペースをぶち抜いた七、八間もあるかと思われるカウンター、その向うに若い清潔な感じのバーテン、ズラリと並んだニッカを始め、各国の洋酒が、大きい棚に所狭しと並んでいる開店の当日、ユニオンズの名コーチ若林選手がお祝いに贈ったという「虫とりらん」が華麗な花を咲かせているのもこの店のスポーティな明るい雰囲気を物語っている。圧巻はニッカのストレートがお通付35円45ccハイボールが45円という、ケタ外れた破格な値段である。その他コーヒー(ホットドックを組で百円)も準備中だというし、ジュースも出る、珍らしいのはソーセージをその場で焼いて供するという"洋酒店のお好み焼"だ。春の味覚とでもいいたいような油のにじんだ軽い舌ざわりはストレートのグラスをなめながら味わえば絶品。アベックならテーブルもあるが奥の一きわほの暗い小部屋を利用するとなおいい。酔わせて口説こうなんてケシカラヌ考えを起しても、そこはそれ、女の子の一人もいないバーである。ジロジロみられて恥かしい思いをするようなことはなくしんみり出来る。上品な上に値段の安い、銀座マンの店といえるだろう。

せまる判決日を前に
鏡子ちゃん殺し　坂巻修吉獄舎で語る
精ぜい無期でしょう　〝出たら親孝行を〟　私は本当に悪かった

死刑を求刑された〝鏡子ちゃん事件〟の坂巻修吉(二)の公判は廿三日青木平三郎弁護人の最終弁論が行われ、いよいよ四月十五日判決が下されることになった。小学生を白昼学校の便所で暴行の上殺したという凶悪犯罪だけに、犯人坂巻の心理状態がとくに注目されてきたが、最終弁論を機に判決を目前にした坂巻を小菅の拘置所にたずね、金網ごしに現在の心境をきき、あわせて獄中生活をのぞいてみた（I）

坂巻は法廷へ出るときと同じGI刈り、グレイの背広、ノーネクタイ、白のジャケツを着て出てきた、いわゆるアプレ青年らしいごうまんな感じは、少しもうけず質問にもすなおに答えるが、これは一面人を食った涼しい顔ともとれないこともない

問　死刑を求刑されてどんな気持がしたか
答　所内の仲間から死刑の求刑をされるかもしれないといわれていたので案外平気だった
問　判決でもし死刑の宣告を受けたら
答　仲間からお前の罪ならせいぜい無期懲役ぐらいだといわれている、自分もそう信じている
問　鏡子ちゃんに対してはどんな気持でいるか、また両親の細田夫妻には
答　申しわけなかったと思っている、自分がしっかりしていればよかったのに、本当に悪かった、細田氏には会ってお詫びしたいが、おそらく会ってはくれないだろう
問　なぜあんな可愛い少女を…
答　はじめはただからかうつもりだったが、便所の中に入ってから妙な気になった、自分にとっては便所の戸が開いていたことが運命の扉だったと思っている
問　自分の両親にはどう思っているか
答　すまなかったと思う、出所したら親孝行がしたい
問　あれを真似た犯罪が起ったが
答　絶対に真似てほしくない、世間でまた問題になってつらい（瑞玉で起った第二の鏡子ちゃん事件を指す）

法廷でもその無感動さ、罪の意識の完全な欠除という点が問題になったが、鏡子ちゃんにたいしては、申しわけないといっていながら、死刑には絶対ならないと確信しているあたり、いままでに見られなかった新しい犯罪者のタイプではあるまいか

法廷における坂巻修吉

◇坂巻の小菅の生活はきちんと規則を守る方で、看守に世話はかけないという、朝七時起床、夜七時就寝、散歩と入浴を除いて、一日読書に時間を費している、最近の愛読書は、週間誌などかたいものの、ちょっと変ったところで「人形佐七捕物帳」を読んでいるらしい、静岡の結核療養所では、カストリ雑誌も読んだらしいが、

◇差入れには母親の歌子さん（現在他家に嫁いでいる）が度々坂巻の好きな菓子類を持って訪れる、前には歌子さんが生来の奔放な性格のため坂巻の父光吉さん(五)と昭和五年に結婚してからも、当時情夫だった高橋氏と家をあけて温泉などを遊び歩き、その上現参議院議員山口重彦氏ともスキャンダルをまいたほどだったが、事件が起って以来すっかり改心、いままでは「修吉が出所したら母親としてどんなことでもして償いをしたい」と洩らしているそうだ、ところが坂巻にとっては親戚にあたる山口氏はまだ一度も差入れをしたこともないという、この点について坂巻の父光吉さんは「修吉の犯した罪については、世間さまからどんなに冷たい眼で見られても覚悟していますが、山口のことだけは…」と怨みがましく語っている

こんな子供に誰がした！
父親山口氏を怒る　生みの母、度々さし入れに

「高橋とのことが起ったとき、私と歌子とのあいだをあの人がうまく取りもっていてさえくれたら修吉だってあんなおそろしい犯罪を犯すような人間にはならなかったと思います、それを親類として取りもつどころか、歌子に金に不自由はさせないからと欺して無理やり尾久町の料亭で関係を結んでしまった、わたしの家庭が荒れ、修吉が十四五歳で女遊びをするようになったのもみんなあの人のせいです山口氏の夫人つるさんにとって修吉は孫に当るのだから、差入れぐらいしてくれてもいいのに…」

そういって父親光吉さんは泣いた

青木弁護士談
私は坂巻の複雑な家庭境遇に非常に同情している、罪は罪として法の裁きを受けねばならないが、何が彼をしてそうさせたかという社会問題も大事だと思う今後二度とあゝいうことの起ることのないように、世間一般でももっとよく考えてほしい

東急、京浜まず妥結
あすの私鉄スト　東京は大丈夫

あす廿七日の日曜日、全国ストを予定されていた私鉄の賃上げ争議は廿六日午前十時過ぎまず東急、京浜が定期昇給八百円で妥結したのをトップに、つぎつぎ話し合いが進み廿六日夜までには大部分が解決する見とおしとなった、こんどの賃上げ闘争には私鉄総連加盟の百二組合が一〇％以上アップの要求をかかげて参加、このうち京成、阪急、西鉄など大手十社については中労委が調停に乗り出したものの、廿三日出された調停案が労使の両方からけられ交渉は一時中絶の形となったが、廿五日夜から本格的な団交を開くことになり関東大手のうち京浜、東急は徹夜で交渉した結果、廿六日朝会社側が調停案どおりの八百円案を出し組合側がのんで妥結した、京成、地下鉄、東武、京王帝都などの各社も廿六日午後からの交渉でほぼ同様の金額で話し合いがまとまる方向にある、関西各社と西鉄なども廿六日午後から団交を再開、一部を除いて廿七日朝までには妥結する見込みが強いので、結局廿七日の全国ストに入る可能性のあるのは阪急、阪神などの関西六大手や北陸鉄道、江の島電鉄などの一部となった

なお東武、京成はじめおもな私鉄労組は交渉に圧力をかけるため廿六日朝から改集札や検札のスト、精算業務拒否などの柔軟闘争に入ったが、会社側で課長ら非組合員を繰り出したので混乱はおきていない

改札ストに入った井ノ頭線で課長さんのキップ切り（於井ノ頭線渋谷駅）

春アベック基地 ⑩ 池袋駅前
手をとって郊外へ　返上される〝東洋のカスバ〟

…彼女の胸に聴診器をあてたら「あの方ったらなんて遅いんでしょう、私がこんなに美しくお化粧し、着飾っているのに恥しいワ、みんながジロ〳〵みて…」と心の中でつぶやいていているに違いない、イヤリングがキラッと光り赤い靴がピカ〳〵白い脚線の果で躍っている、ハンドバッグはいいのだが手にした風呂敷包がなんか不体裁だ、とするとこの彼女楽しいランデブーではないかも知れない、そんな詮さくはともかくとして、ここ池袋の表玄関は春の郊外へしゃれ込むアベックの好適な待合せ場所であり、オアシスであることは事実だ

…もっともこれは昼間の話で、夜のとばりが下りると焼鳥、オデン、かん酒の錯然とした匂いが立ちこめ「ネエいゝでしょう、寄っていらっしゃいよ…」と媚びる夜の花が出るのも同じこの場所である、そんなことから東洋のカスバとかプクロ租界とひと頃いわれたが、最近では地下鉄開通と共にそういった暗黒街的名称が西武、東横デパートを始め協和、三和両銀行、森永チェーンストアー等の進出によって返上されつゝあることも認めなければならない

…とかなんとか考えているうちに「キャッ」という嬉しそうな女の声がした、ざっきの女性である「お弁当をつくって待っていたのよホラーこんなに…」とあの風呂敷包を指さした、郊外へ楽しいチンチンかもかもであろう、レンズのピントがぼけたくなるような陽気でもある【写真は池袋駅前】

ペレス　白井対戦を承諾
試合は5月19日東京で

【ブエノスアイレス廿五日発AP＝共同】アルゼンチンのボクシング世界フライ級選手権保持者ペレス選手のマネジャー、ラザロ・コシー氏は廿三日、ペレス選手は日本の白井義男選手とのリターン・マッチのため東京に赴く用意があると言明した

コシー氏はさらに「わたしとペレスが東京へ出発する前に日本のプロモーター新保氏（国際興行代表）が前払いとして五千ドル（百八十万円）を東京のアルゼンチン大使館に供託しなくてはならない」と語った

五千ドルの内訳は白井とのリターンマッチでペレスが受けとる試合報酬四千ドルと昨秋のタイトルマッチの後新保氏がペレスの負傷による試合の延期を理由に報酬のうちから没収した一千ドルを加えたものである

白井選手談　五月十九日が試合日だときいてますのでトレーニングはやっています、わたしとしては契約条件などの問題は他の人にまかしてペレスに勝つために万全の準備をするだけです

新保（国際興行代表）氏談　わたしの方から一月に四千ドルプラス一千ドルという条件をペレス側に送ってあった、四千ドルは昨年のリターンマッチの時の条件だ、ペレス側がこちらの提案をのんだわけだから東京の試合は実現しよう、期日は五月十九日として先方に申入れてある

白昼人妻を斬る
四人組強盗　一名は銀座殺人に類似点

白昼中央区小田原町の繁華街で強盗を働いたうえ人妻に斬りつけた四人組、廿六日朝までに築地署に捕った、このうち一人は西銀座雑貨商殺しと結びつきがあるのではないかとみられている

一味は中央区湊町三の九窃盗前科一犯無職大竹民夫(二)同区湊町三の二元ボクサー無職渡辺賢一(三)同区新富町三の一五前科一犯無職中西義光(三)文京区駒込追分町三〇恐喝前科一犯無職白石市郎(三)で、いずれも不良仲間のヒロポン中毒者で、ポン代に困ると恐喝を働いていた

最近の取締りで覚醒剤入手が困難となった上遊興費に困って犯行を計画さる廿二日地下鉄銀座駅売店で刃渡り一尺五寸白さやの短刀を二千八百円で買い求め廿三日午後零時半白石が面識もあり家庭の事情に通じている中央区小田原町一の一五日本酒類販売株式会社営業部長間島竹雄氏(五)宅を大竹が訪れ、竹雄氏が熱海に出張中で妻たみさん(三)は病気、長男忠一君(一)と留守番をしていることを聞き出し、いったん引返して同零時五十分再び大竹と渡辺が侵入中西、白石は表で見張った、大竹が忠一君の首を絞めて口をふさぎ、渡辺が短刀でたみさんを脅したところ悲鳴を上げて逃げようとしたので追い駈けて短刀で突き刺し、左背部に全治三週間の重傷を負わせた、たみさんが血だらけで隣家の大桃熊吉さんに救いを求めたので一味は一物も得ず逃走した、聞込みにより築地界隈の路上その他で廿六日朝までに逮捕されたもの

中西は最近寿司屋の二階に住んで白い割烹着を着て銀座界隈をぶらついていたところから一応銀座雑貨商殺しと関係があるのではないかとみて追及している

（上から）大竹、渡辺、白石、中西

柳橋の料亭に覆面強盗
女中を脅し強奪

廿六日午前三時ごろ台東区浅草柳橋二の四料亭「おぎ乃」＝経営者荻野昌子さん(三)＝に四十二、三歳五尺二寸ぐらい手拭で覆面した男が押入り、階下八畳間で売上げ金を帳簿につけていた女中の町田房江さん(三)に菜切包丁をつきつけて脅迫、町田さんが助けを求めたので賊は現金一万六千円をわしずかみにして逃走したと蔵前署に届出た

ふし穴
これでは財布がカラに

◇社交接客術の教科書と銘打ちネオン街の女給さんたちをねらった「社交読本」という旬刊パンフレットが創刊された、つまり〝一等女給〟の虎の巻というワケ、第一号をのぞいてみると

「A子さんの、なじみの客は店へきても、A子さんが休んでいるとそのまゝ帰ってしまうか、面白そうでなく早々と切上げてしまう、それは、その客が店の客でなく、A子さんの客だからである、これはA子さんにとって、果してトクであろうか…A子さんだけの魅力でくる客は、A子さんが休んでいたり、他の客席で忙しかったりするのが続くと、つい足が遠のいてしまう、自分で客を独占しようとせず、客を支配人にも酒場さんにも、或いはボーイさんにも、特に朋輩の社交係に紹介して、一日も早く店の人々と顔なじみにする、顔見知りが多いほど、あちこちからお世辞やあいさつがかゝって、客の気分は上々、A子さんが休んでいても、気安く遊んでいかれる、朋輩に指名をとられては－なんてケチな…」

…ものだった、あまり厳重でもイザの際早く出られず、チャチだと脱走、その辺のカネアイがむずかしいところ

◇学生の家庭を回っては金を詐取していたニセ教師の島井慶子(三)がついに御用になった、若くて美人ゆえにみなコロリだまされたのだが、刑事さんや取材に当ったある記者「凄い美人だね、なんとか更生させたいね」とトクにリキミ返っていた、美女というヤツ、どこにいってもトクなもんですなア…（貫）

【写真は島井慶子】

神田駅前　NOチップ社交場　サロン松

独眼灯
○…小雨降る廿六日朝九時音羽の鳩山邸で国際的友好団体「フリーメーソン」から鳩山さんへ〝マスターメーソン〟なる称号が贈られ当の鳩山首相はハル米極東司令官などに囲まれニッコリ

春アベック基地

エムさん

春宵女人論議

リレー対談

天下の美男で、歌舞伎の名門松本幸四郎丈とあれば、女にモテてモテて困るご商売、カタヤ聞きの高見順氏また、その作品に風俗描写の特異なる味を発揮して女にモテるお方、この両者の顔合せとあれば自然話はその方で持ち切りというもの、女にまつわる歌舞伎風俗の変遷史に、汲めども尽きせぬ情味ある話題は、宵闇せまる春の一夜を語り明かす舌戦ではあった

松本幸四郎丈

高見順氏

娘十七、八が"花"を"好き"
誤報にファンから派手な攻撃

高見　あなたに初めてお逢いしたのはずいぶん前になりますね

幸四郎　戦時中でしたろう、楽屋にみえられて…それからが戦後で、二、三年前でしたか、先生とご一緒のとき、ひどい目にあいましたよ

高見　ああ、あれは私がこの前欧州に行くとき、ビザのことで外務省の但馬女史と会って、ご一緒に銀座に出たんですよ、そのとき、あなたとお逢いしたんでしたね

幸四郎　男性が二人にご婦人が四人でした、銀座を飲み歩きましたね、僕だけがあまり飲めなくて、渋茶をすすりながらあちこちハシゴして（笑声）

高見　そもそも「エスポアール」に行ったのが失敗[illegible]

幸四郎　「エスポアール」のマダムは美しい人ですからね、つい、[illegible]

高見　あのときの新聞で、あんな話題のタネになってしまった

幸四郎　あれはね、いわゆる一般論としてね、十七、八が花だとしゃべった、番茶も出花というでしょう、それですよ、そのつもりでついペロリとしゃべっちゃってね

高見　悪いことに、そのあたりに、どこかの新聞社の人がいたんですね、さっそく「幸四郎は十七、八の女が好きだといった」と出てしまった

それが大問題になりましてね、[illegible]聞、私はファンの方々の非難[illegible]した、だいたいがですよ、ご一緒でしたからそんなことをい[illegible]のじゃありません、天然自然の[illegible]出るのは十七、八歳だという意[illegible]んです、卅代には卅代の、四十代の、それ相当の深味を増[illegible]が出ていてよいものでしょう[illegible]思っているのだということを、あとでいくら説明しても、ファンの方は弁解としかとらない、弱りましたネ、あのとき先生を証人に頼めばよかった

高見　でもまア、そんな風に大問題になるのは、美男子の税金と思えば安い（笑声）

幸四郎　そりゃひどい、先生の方がご婦人にはモテルじゃありませんか

高見　いやいや、あなたの万分の一でもあやかりたいと思ってます（笑声）

"僕は恐妻家でテレ性"
女性ファンには奥さんが応対

高見　幸四郎さんは立役ですから、ご婦人のファンが多いでしょうね

幸四郎　さあ…

高見　なかなか慎重ですねェ（笑声）

幸四郎　僕はもともと恐妻家なんです（笑声）

高見　この頃は恐妻病はスタリかけていますよ

幸四郎　いや、先生のところは、でしょう（笑声）わたしのところは依然として恐妻でして…

高見　そうですか？（笑声）でもね、この間私がペンクラブの会でインドの方へ行った留守に、あなたの奥さんと、文芸春秋の佐々木（茂索）さんの奥さんと、うちのと三人が会談したそうですね

幸四郎　そうらしいですよ、婦人クラブとかで…

高見　どんなことを話してたか、いささか気になる（笑声）

幸四郎　参謀長会議で（笑声）

高見　楽屋にご婦人のファンが見えたときはどうします

幸四郎　別にどうということはありません、ファンはファン、奥さんは奥さんでしょう、いまはこだわりませんね

高見　いまはですか（笑声）

幸四郎　弁解じゃありませんが、僕はファンのご婦人との対談がじつにヘタなんです、すぐテレちまってね、そういうときは奥さんに応対してもらう、女同士の話にしてもらうんです、この世界では、外交官の奥さんとおなじで、いろいろやってくれなければ駄目です

高見　あなたの奥さんはしとやかで、しかも大変しっかりした人ですからね

幸四郎　先生はインドに行かれてから急にお世辞が上手になりましたな（笑声）

稽古に親子の情なし
震災で画描き希望を諦める

高見　学校は暁星でしたね、最初から舞台に立つのがお好きでしたか

幸四郎　僕は大嫌いでね、いやでいやでたまらなくて…僕は人の前に出るのが苦痛でした、つまりテレ性なんですよ、学校に通ってるころは画描きさんになりたかったんです、画描きさんなら、人のいない処でやれますでしょう、出来たものには作者がくっついていなくていいし、それにね、その頃のお客さんはきびしかったですからね、僕みたいなテレ性じゃつとまらない、はたで見てるだけでおじけずいちまうんです、ちょっと下手をやると、舞台のすぐ前のお客に「大根」なんてやじられたもんです、ひどいときは舞台を見ないで横むいてしまうでしょう

高見　そりゃつらいですナ

幸四郎　いまのお客さんはお世辞がいいですね、また、昔は下手な役者は病（やまい）かいされました、同じ舞台でやっていて先輩が「マズイナア」と大きな声で、お客に聞えるようにいうんです、いわれる方は若いでしょう、ただじりじりして口惜しくて、殺したいくらいですが、なんたって相手は自分より芸がうまいんですから仕方がない、舞台でやられ、お客さんにやられる、若いうちは気の休まるヒマがない、教わりに行っても、すぐには教えてくれない、自分で勝手に工夫せいというわけです

高見　しつけもきびしかったでしょう

幸四郎　ええ、きびしいのなんのって、そりゃもう親子の情なんてないといいましてね、僕のおじいさんが踊りのお師匠さんでしたが、稽古なども、ピシピシ棒で叩く人です、今ではそんなことはないです、ヘタでもなんでも「ケッコー、ケッコー」とほめてばかり、ご時勢だからまァ仕方ないといった調子ですね

高見　画描きさんの希望を諦めたのはいつでした？

幸四郎　諦めたのは、大正十二年の大震災でした、焼けだされて、大阪の知り合いのところに居候していた時です

高見　あなたとは三つほどしか違わないから、中学校に入りたての頃でしょう

舞台に出るより居候の方が苦しかったんですね（笑声）私もあのときは東京にいたんですが、心身共にショックを受けましたね…震災後一番早く芝居をしたのは沢正が日比谷の野外でやった時だというのですが、歌舞伎では？

幸四郎　麻布の十番の末広座で先代の歌右衛門さんがやりました

高見　ああ、私はその頃麻布に住んでいたので、よく知ってますが場末の小屋でしたね、私は小学校のころよく見たものですが、女の弁天小僧などがかかっていましてね

幸四郎　先生でもそうしたのをご覧になる？

高見　ええ、大いにね（笑声）

抜けきれぬ女形意識
奥さんを楽屋に入れぬわけ

高見　何の仕事でもそうなんですが、殊に歌舞伎の俳優さんは、たいへんな労働のようですね

幸四郎　ええ、朝楽屋に入って、夜までぶっ通しですから

高見　九朗右衛門さんが何かでいっていましたが、二部制だけはやめてほしいというのは、若い人たちにも重労働なんでしょう

幸四郎　そうなんです、僕なんかここにきてすこし痩せましたよ

高見　たいへんなんですねェ、あなたの奥さんは楽屋に見えますが、人によっては、奥さんを楽屋に入れないという人がいますでしょう

幸四郎　僕は奥さんにいろんなことをやって貰いますでしょう、でも、女形をやってる人は、奥さんが楽屋に入ることを喜ばない傾向がありますね、女形の人は楽屋では女の気持になってるときですから、奥さんがそばにいるという意識だけでも、どうしても男性ホルモンの分泌があるでしょう、まずいんですね、女形の人は舞台からおりてきても、まだしばらくは女らしい気分が抜けていないんです、とたんに男に切替えることはできないようですネ、友右衛門なんかそうらしい、舞台で恋人なら恋人、奥さんなら奥さんの気分がすぐには抜けない…こっちは男役だから、その点では、なんでもありません、地でやればいいんですもの

市村羽左衛門の与三郎

トイレもご婦人用へ
風呂へも立役と入らぬ女形

高見　昔の舞台情緒と今の雰囲気では多少違ってませんか

幸四郎　そんなところがあるかもしれません、昔は楽屋に座っているときから女形は女のしぐさで、あぐらもかきませんし、もちろんハダカにもならない、便所も男の方には行かない、風呂も、立役が入っているときは入らないという風でしたね、一種の礼儀ともいえるでしょうが…

高見　以前には女形の人は男の恋人をもっていたというような…

幸四郎　恋人というのでなく、舞台で夫婦の役なら夫婦のように、朝でも楽屋で男役に挨拶にいくといったこともしていました、恋人になる役ですと、相手の立役に贈物を届けるとかね、僕が子供の時分に女形の人で紫の長い袖の着物を着ていた人がいました

高見　この頃はどうです？

幸四郎　さあね、歌右衛門さんくらいでしょう、昔のような女形さんは…友右衛門さんは、ああして映画では立回りをやってますし、梅幸君にしたって、普段は自動車の運転しているといったところでね、もっとも女形も男役も両方に接していましょう、しかし、やっぱり僕等の前ではアグラなんかかきませんよ

高見　舞台だけで女になればいいわけですよ、ねェ

幸四郎　それはその人の腕前でしてね、昔だって女形らしくない、女形の人もおりました、先代の梅幸さんとか、田圃の太夫さんとか

高見　ああ、入谷にいた源之助さんでしょう

幸四郎　そうです、田圃の太夫とか前の雀右衛門さんなんかは、楽屋でもアグラかいて、ベランメエ口調でしたが、舞台ではずいぶん色っぽいものでした、結局女形の生活にも二タ通りあるのですね

高見　その雀右衛門さんのお嬢さんが京都で旅館をしてます

幸四郎　京屋といいましたか

高見　文士の常宿になってましてね、船橋（聖一）君もあそこです、たいへん親切にしてくれます

出刃の上で不義の夢
昔の女は意地と"ケジメ"

高見　歌舞伎の方では、昔からひいきのお客が熱をあげてたいへんだといいますね

幸四郎　昔の人はやることが派手やかで意地を張ってたでしょう、僕の親父の若いころの人で、偉い人の愛人を取りっこしたりして、相当話題になったようなこともありました

高見　有名な話ですが、先代の羽左衛門さんと、頭山さんの愛人との話ね

幸四郎　橘屋さんがパリに行かれたときで、あの女の方がパリまで、後を追って行った

高見　あの人は女傑ですね、戦時中上海に大きな料理屋をしていましてね、私たち文士が従軍記者として特派されたとき、お世話になりました

幸四郎　なんたって、昔の人はどの方面でも大したもんだったと思いますね

高見　しっかりして下さいよ（笑声）

幸四郎　いや、だいいち相手のご婦人に意地があったんですね、こっちが座っているだけですが、ご婦人の方が派手やかですから……映画に「馬賊芸者」というのがありましたでしょう、あんな風で、女の方が命を張ったんですね、りっぱな旦那がいても、その場合は旦那のお金を使わない、自分で借金して使った

高見　旦那からお金を捲き上げてつぎこむようなことはしなかったんですね

幸四郎　そこにケジメがあったんですよ、それで思い出しましたが、田圃の太夫さんに聞いた話ですがね、例の明治一代女のモデルといわれた箱屋の峰吉殺しの小梅と、田圃さんが寝たときに、小梅は出刃包丁を布団の下に入れていたというんです

高見　万が一、旦那が現れた場合のことを考えてたんですね、それで…（笑声）

幸四郎　いや、それから後は僕にも話さなかったんです

高見　例のT料亭のお嬢さんがS丈に熱をあげたって話がありますでしょう、後援会が二つに別れて張りあったというような…

幸四郎　さあ、どうでしょう、知る人ぞ知るですかな（笑声）

次回リレー対談の出席者は松本幸四郎丈に山田五十鈴さんです

東京の楽屋 ⑥ 元センセイ

パッタリと教え子
特技で咲いた夜の花
逆襲に苦しい弁解

場所は新橋、名前は美代ちゃん、ということにしておこう。年令は何も彼も知りつくした卅五歳。顔もまずくなくスタイルも十人並。なんでも、三人の子供を残されて夫に先立たれたのが、この街の夜に咲いている原因だそうだが、確かなことは判らない。

彼女美代ちゃんはO区の某小学校の先生だった前職を持っている。先生から一足飛びに売春婦になったのにはよくよくせきの理由があったに相違なかろうが、それにしてもばかに思い切ったものである。

その彼女がまた変っていて、客は取るには取るが、一切自分の体は使わせないのである。それでも結構お客の方では満足して又くるというのは、彼女は彼女、発明にかかわる数々の技術を身につけているからで、美代ちゃんはそれを一種のプライドにしている。

「体を使うなんてもったいないわ、病気にでもなったら大変でしょ、男を満足させる位のこと、体を使うまでもないわ」

彼女はそう広言してはばからない。よくしたもので、それが人気を呼んで、結構稼いでいるというから世の男性なんて不思議なものである。

そういう彼女の評判をきき知ったある人から、彼女は奇妙な相談を受けた。相談しにやって来たのは五十年輩の婦人で、どういう出来そこないか、結婚した廿五歳の長男が夫の役目を知らないというのである、料金をはずむから何とかして貰いたいという申込みで、彼女は勿論二つ返辞で引き受けた。果して彼女はどういう指導方法をしたのか知らないが、昔取ったキネズカでものを教えるのは巧いらしく、それから数日して再び訪ねて来た婦人から、

「お蔭様で息子もどうやら一人前になりました」

と感謝されたというから効き目は満点だったとみえる。

美代ちゃんが一度ギャフンと参った話がある。

ある夜の客が、どうもどこかで見た顔だと思っていたが、とにかく客だから旅館に案内してしかるべく始ったのだが、明るい部屋に入って驚いた客は彼女の教え子だったのである。

「いけませんね、こんなことをしては…」

と彼女はさすがに元センセイ、威儀を正して不心得をさとすと、

「では先生はどうなんです？」

そう逆襲される始末に、あたしは別ですともいえず困っていたが思い切って、

「だからあたしは体は使いません」といったというが、大いに苦しかったそうだ。

（笛吹吟児）

続 情炎の千代田城 (68)

岩崎栄
寺本忠雄画

竹馬の友（十一）

神妙に駕籠をおろした釜爺イの若いものに、

「きさまらは逃げて行けッ。見のがしてつかわす」

「へい、おありがとうございます」

すなおに小腰をかゞめて、覆面の横をすりぬけようとした二人が右と左にダーッと跳ンだ。

「うッ」

「ギャッ」

覆面が二人ブッ倒れたあとに、じッと立っているこっちの二人はピカリと光る山刀を構えて、

「さア来いッ」

不意をつかれて、ハッとうろたえた隙へ、千代太郎が、

「えいッ」

と一人を斬り伏せて、すぐにまた八百定の右横に飛び戻った。

じっと正眼に構えて動かない。と山の若いもの二人が、

「それッ」

と叫ンで反対の方角に、バタバタ逃げ出した。それを覆面の二人がそれぞれに追いかけようとして、二人ともツンのめるように打ち伏さった。

山刀を、二人が一度に投げつけたのだ。山窩は鳥や猪を狩る猟法で、こうして投げうちは小供のころから修練を積ンでいる。

「えいッ」

千代太郎が敵の構えへ、体当りに斬り込んだ。火花が散った。眄け抜けたあとに、敵は刀を取り落し、脇腹を圧さえてうずくまった。

駕籠の上から八百定が、

「うん、うまくやったな。アッパレ、アッパレ」

山の者二人も、八百定の左側に来て、前後に山刀を構える。八百定がパッと、駕籠の上に飛び上がった。

「おいら、こゝで高見のけんぶつだ」

腕ぐみをして、悠然と、

「お黒ン坊めら、ひィ、ふウ三ッーと、三びき残ってやがるな。それっぽちじゃ殺し甲斐がねえや。おう、加勢をもう五、六ぴき呼ンで来たらどうだ」

覆面三人一列に並ンだ中に、頭だったものがいて、何か小声で左右にさゝやくのと殆ど同時に、千代太郎へ烈しい太刀風で斬りつけて来た。

あとの二人が山の若いものに一人ずつ立ち向ったが、えたいの知れぬ怪しい駕籠かきの力量におそれたらしく、慎重に構えて、ジリジリと一寸きざみに寄ってくる。

千代太郎の敵は相当の達者らしい。初太刀をガッと受けて、押し返えした千代太郎の技両を知ると、これも飛びさがって慎重に、

向う鉢巻で、両掌を煽って、大へんなごきげんで、

「どうだい。もうみなまいってるかい。それとも、まだ生きてやがるか」

千代太郎が、

「生きてはいるよ。だけどもう働けるやつァいねえよ」

「そうかい。ふン、気の毒みてえなもンだな。よお黒ン坊ども！しかたがねえ、運のつきだと諦めろ。わるく思わねえでくれろよ。さて、じゃァ行こうぜ。どこかそこいらで勝ち祝えだ。景気よく飲ましてやるよ」

駕籠からポンと飛び降りて、

「このお荷物ァこゝイ置いてくンだ。さァ行こう」

山窩の一人が、

「置いて行くンだって？」

「万事は筋書通りだ。寸法通りに行ったンだよォ。こゝにうっちゃっときゃ、夜が明けるまでにゃ、コソコソと持って行くやつがあるンだよ。そういうことになってるンだ。チャンと」

話の種・はなしのたね・話の種

☆パリ女の内幕は？

赤と黒の幻想。ジュリアン・ソレルでなくても一度は覗いてみたいフランス女の内幕、豪華なパリの雰囲気を楽しみたかったら、兜町江戸橋鈴やビルのクラブ「ラ・セーヌ」へ行くといい。洗練された近代紳士のサロンとして、その豪華さ、女性の豊満なお色気は比類がない。パリのナイトクラブそのままである。（写真はラ・セーヌ所見）

☆目的はマダム？

日本人が昔から強精食として尊んだ「うなぎ」は、味、栄養ともに川魚の大関級だが、何といっても庶民に親しまれているのはうなぎやの雰囲気とキップ。江戸前のセリフで出されるうなぎのゴッテリした味は日本の食通の一度は受ける洗礼だ。所で、うなぎやのキップといっては何か油っこいが、粋な江戸前の歯切れの良さで、鼻下長氏などにも狙われて困っている女将のいる店、といえば言わずと知れた新橋馬券売場ウラの「竹葉」和服姿の色ッぽいこともさることながら、このマダムの美しさとキップの良さは有名で"高校三年"組から総退却型の老らく組まで、うなぎで仕込んでブッ放そうという虎視タンタン組がワンサ、ワンサ。この所、マダム少々イカレ気味だという話。

☆名物にうまいものあり雛丸焼

焼鳥で一杯というのは近頃のんべえの流行だが、大がいは豚を食い、それと知っても懐具合を考えて黙って満足、鳥を食ったつもりになっているのがご時勢。ところがそんな気持を起さないでも、その程度の懐ろで、本物の"トリ"が食べられる結構な店がある。

新宿は野高フルーツパラー前の「雛忠」がそれ。ヒナ鳥が一串10円で食えるのもめっけものだが、それより堂々とした雛丸焼が百五十円で楽しめるとあっては夕めし替りにしても損はない。きれいな店でカウンター、テーブル、小座敷といろいろ雰囲気は揃っているから客の方でも合わせて、いろいろに利用出来る。玉子丼50円、ビール百四十円。"名物にうまいものあり雛丸焼"とでもいいたい店だ。

☆一枚二百万のガラス

日本橋丸善ウラの喫茶店「スターファイヤー」数人のウェイトレスの美しさでは界隈ピカ一といわれるだけあって、付近の青年やサラリーマンの心をゆさぶっていたが、今度大増築、一枚二百万のカットグラスで窓を飾り壁面を大理石ばりにして、いよいよ若者の度胆を抜こうという企画。そうでなくても若い心はヤケに燃えて困るというのに、この豪華な雰囲気をそえたらどうなることか、と今から近所の雀は騒いでいる。（カットはマッチの図案）